

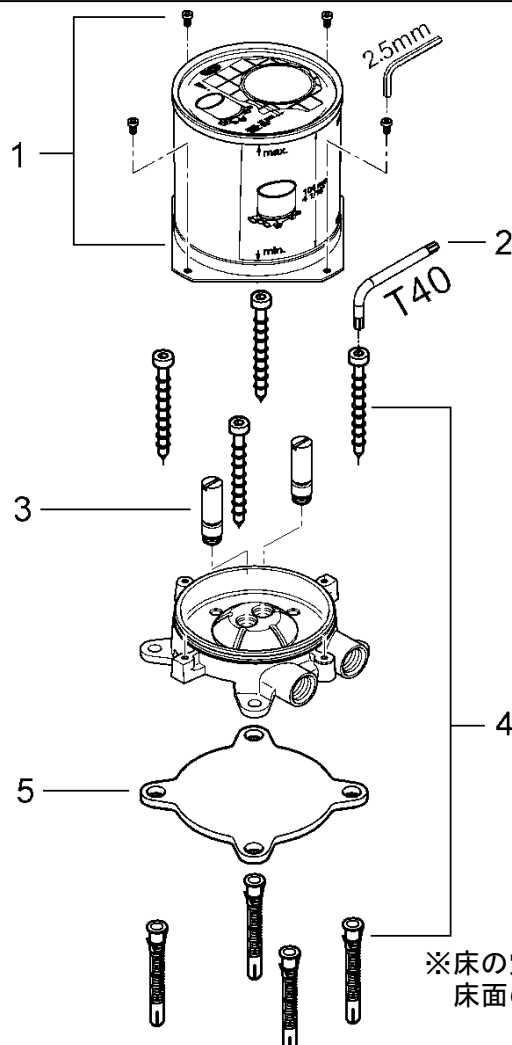
## スタンドバス埋込部施工説明書 (お客様にお渡しください)

機種名	化粧カバー品番	埋込本体品番
アリュールブリリアント	2311900J	4598410J (バスシャワー用)
グランデラ	2331800J	4598410J (バスシャワー用)

- 製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
  - この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
  - 施工完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- また、この説明書は、お客様で保管頂くように依頼してください。

### 分解図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



図番	名称
1	養生カバー
2	工具
3	フラッシュプラグ
4	取付ビス
5	パッキン

※床の穴あけ寸法は付属の養生カバーに合わせてください。  
床面の化粧材厚みは 100mm 以下。

## 安全上の注意

施工前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく施工してください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## ⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

寒冷地仕様ではありませんので、水抜きには工具を必要とします。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

施工完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、レバー、ハンドルが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

## 使用条件

### ● 給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器（ボイラー、電気温水器）と組み合わせる場合

流動圧で最低必要圧力(0.05Mpa [0.5kgf/C㎡])～(最高圧力0.74Mpa [7.5kgf/C㎡])の範囲とします。

給水・給湯圧力はできるだけ同圧（最大3：1以内）になるようにしてください。

◇ガス給湯器（比例制御式：16号相当）と組み合わせる場合

流動圧で最低必要圧力(A+0.05Mpa [0.5kgf/C㎡])～(最高圧力0.74Mpa [7.5kgf/C㎡])の範囲とします。給水・給湯圧力はできるだけ同圧（最大3：1以内）になるようにしてください。

※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

※以上は下記の条件を想定して設定されて降ります。

レバー、ハンドルは全開です。

ガス給湯器との組合せ条件が最も悪い冬期条件（給水温度5℃、吐出温度40℃）によるものです。

給水圧力はガス給湯器直前における流動圧です。

ガス給湯器の温度調節は最高温度（60℃）設定です。

◇給水圧力が0.74Mpa [7.5kgf/C㎡]を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

● 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓の設置をおすすめします。

● 給湯に蒸気を使用しないでください。

## 施工前の注意

● 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

● 給水は上水道に接続してください。

※井戸水、温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

● 開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。

● 必ず配管中の異物（ゴミ、砂等）を完全に洗い流してください。

● 寒冷地仕様は不凍栓等を設置した寒冷地仕様配管設備でないと使用できません。

● 取り付けの場合、必ず水受けを設けスラブへの防水を行ってください。

● 本体のガタツキ防止の為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

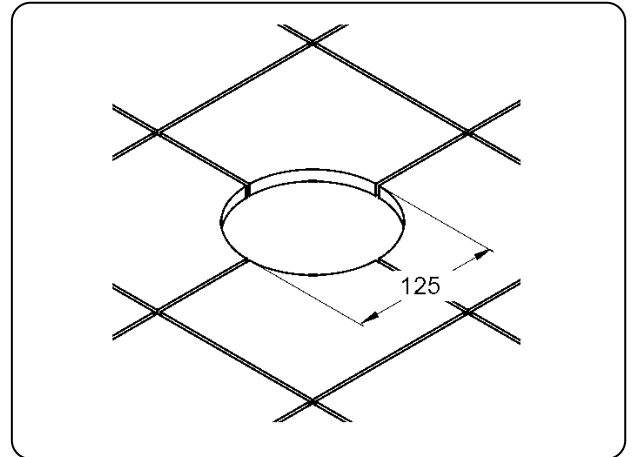
● 接続ねじは平行ねじG1/2です。テーパねじ（TP1/2、R1/2）には使用しないでください。

## 施工手順

### 1. タイル（石）の穴あけ（図1参照）

- ①タイルまたは石に付属の養生カバーの形状に合うよう、エンピツ等でけがいてください。
- ②タイルまたは石にホルソー等で、養生カバーの形状の通りに穴をあけてください。  
※石（接着剤含む）の厚みは100mm以内としてください。その場合、埋込寸法は最大にしてください。

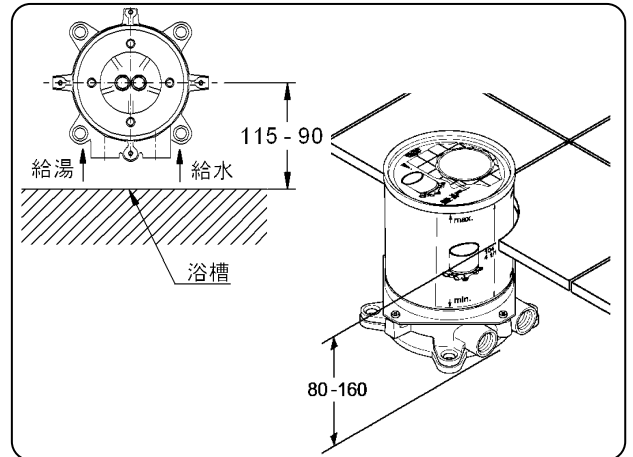
図1



### 2. 本体の埋め込み寸法（図2参照）

- ①養生カバー正面には給湯・給水口があります。
- ②向かって手前左側が給湯口、手前右側が給水口になります。
- ③埋め込み寸法は、本体の底面より仕上げ面が80mmから160mmの範囲にしてください。
- ④浴槽の設置位置は、本体の中心より115mmから90mmの範囲にしてください。  
※埋め込み、設置位置は規定寸法を守ってください。床面に隙間があいたり、水栓が取り付けられない場合があります。  
※止水栓の設置をお勧めします。水量の調整が可能になり、適量・適温が得られるようになります。

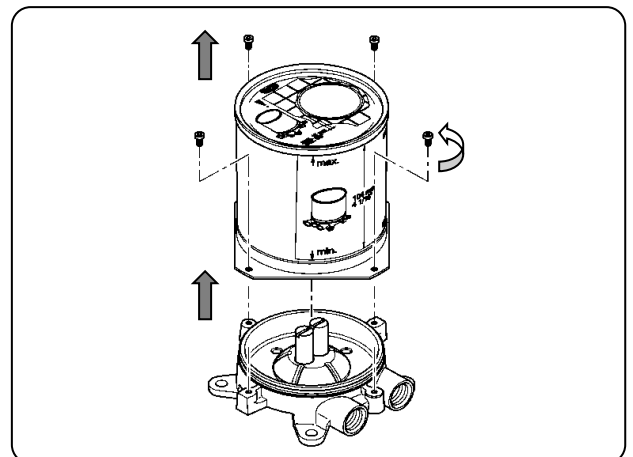
図2



### 3. 本体の準備（図3参照）

- ①養生カバーのフタを手で取り外します。
- ②養生カバーの止ネジを2.5mm六角レンチで左回しに取り外します。
- ③養生カバーを本体より手で引き抜きます。  
※養生カバーは取り付け後も必要ですので、紛失しないようにしてください。

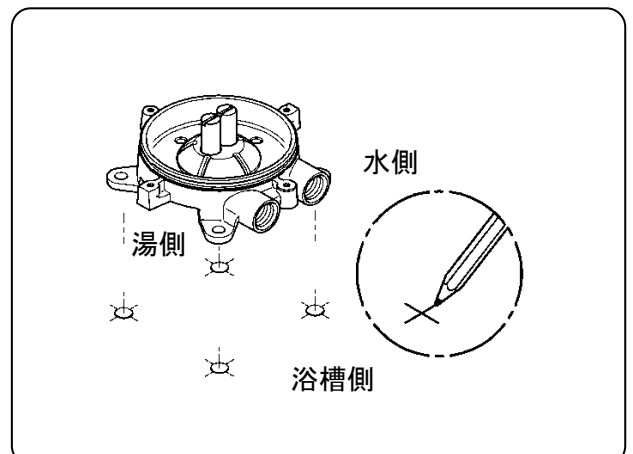
図3



### 4. 取付位置の準備（図4参照）

- ①本体を固定する穴（六箇所）をエンピツ等でけがいてください。  
※一度本体を床に押しつけ、取り付け位置、湯水の配管方向を確認してください。

図4

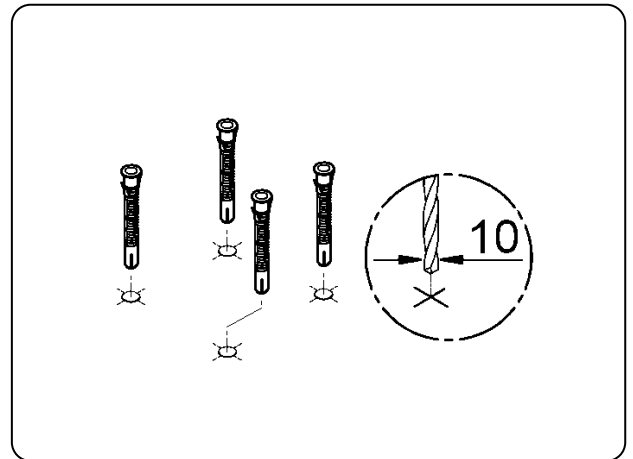


## 施工手順

### 5. カプラーの取り付け (図5参照)

- ① 取付位置にドリル等で $\phi 10$ mmの穴を六箇所あけてください。
- ② 付属のカプラーを完全に差し込んでください。  
※ユニットバス等コンクリートを使用していない場所では穴明けの必要はありません。

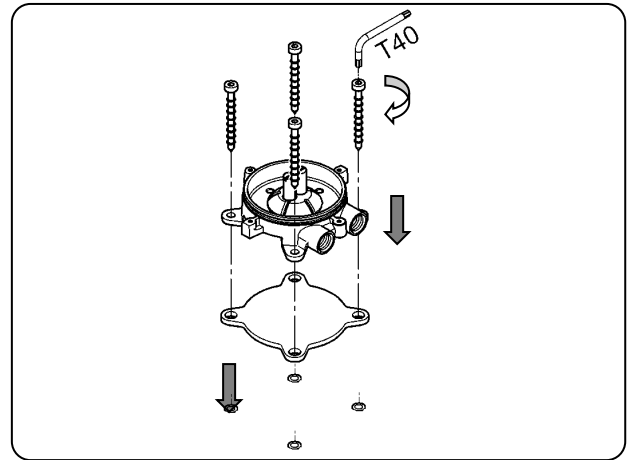
図5



### 6. 本体の固定 (図6参照)

- ① 付属のパッキンを床に置いてください。
- ② 取付ビスを付属の工具で右回しにねじ込んでください。  
※取付ビスは同等品であれば、付属の取付ビス以外でも使用可能です。  
※ユニットバスの場合は、補強の裏板をご使用してください。

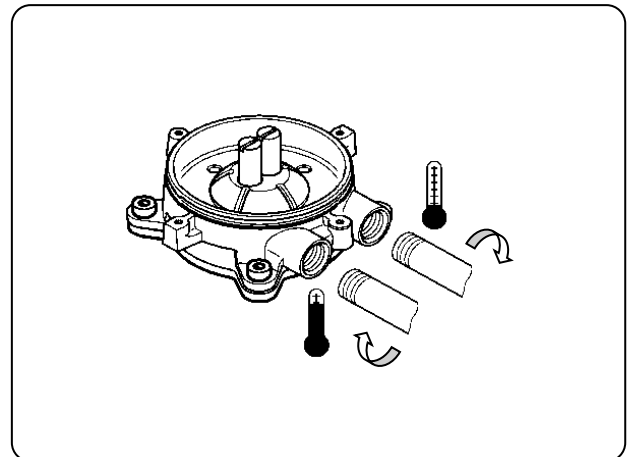
図6



### 7. 配管の接続 (図7参照)

- ① 配管ネジ部にシール剤 (シールテープ) 等を使用し、工具 (パイプレンチ等) で本体の給湯口、給水口に右回しにねじ込みます。
- ② 本体は水平、仕上げ面に対して垂直であることを確認してください。  
※本体は縦に取り付けることはできません。  
※確実に固定されていることを確認してください。  
※本体の接続ねじはG1/2 (平行ねじ) です。テーパねじを使用する場合は、市販のアダプター (ザルボ等) をご用意してください。  
市販のザルボには長さ各種あります。  
例: 長さ 20 mm カクダイ製 6111-13X20 (Rp1/2-PJ1/2)。

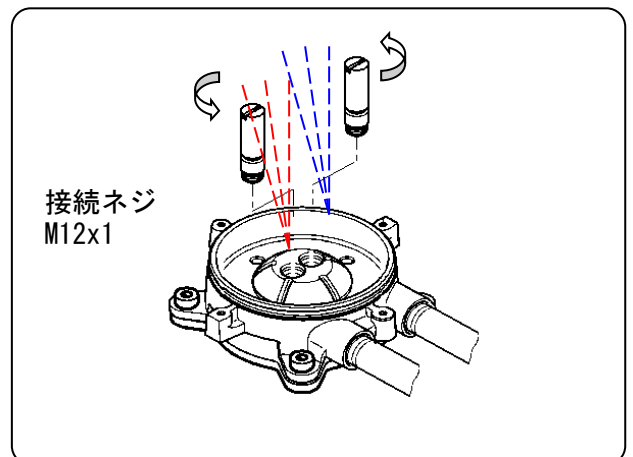
図7



### 8. 配管の洗い流し (図8参照)

- ① フラッシュプラグをマイナスドライバー等で左回しに取り外します。
- ② 湯水を給水し、配管中の異物 (ゴミ、砂等) を完全に洗い流してください。
- ③ 洗い流す場合は、接続ネジ (M12x1) がご利用できます。
- ④ 作業が終了しましたら、フラッシュプラグを取り付けてください。  
※洗い流しの際はホースまたはバケツ等をご用意していただくなど、排水時には室内を濡らさない、汚さない等の措置を施してください。

図8

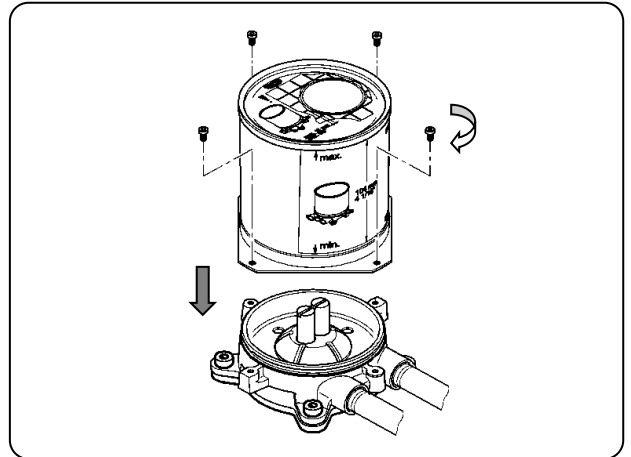


## 施工手順

### 9. 養生カバーを取り付ける (図9 参照)

- ①養生カバーを本体に差し込みます。
- ②養生カバーの止ネジを5mm六角レンチで右回しに取り付けます。
- ③養生カバーにフタを取り付けます。  
※養生カバーは取り付け後も必要ですので、紛失しないようにしてください。

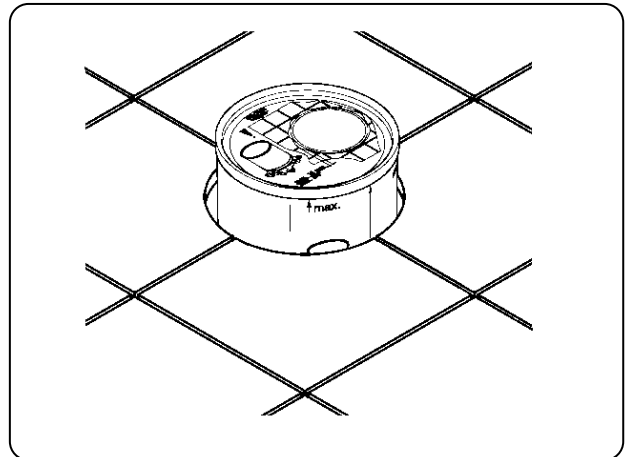
図9



### 10. 床面の仕上げ (図10 参照)

- ①床に加工したタイルまたは石を、穴があうよう接着して張り合わせてください。
- ②床面と養生カバーの間は、コーキング等シール材を使用して床内部へ水の浸入を防いでください。  
※養生カバーはホコリやゴミが付着しないようにするためが必要です。また、むやみに埋込内部にはホコリやゴミが付着しないようにしてください。

図10



## 取り付け後の確認

取り付け完了後、必ず下記の項目を確認してください。

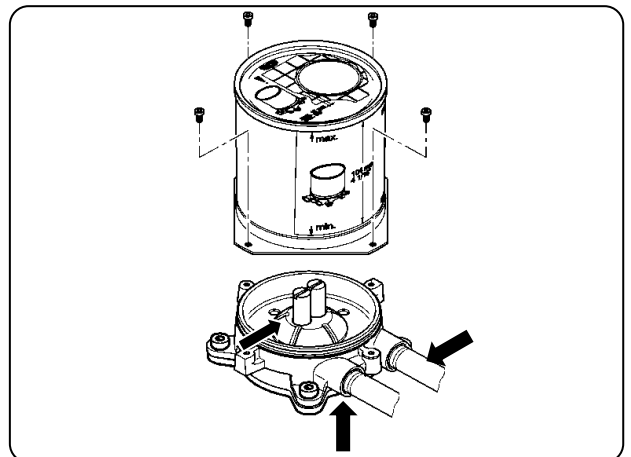
### 1. 接続部の水漏れ (図11 参照)

吐水、止水を数回くりかえした後、図の箇所を点検します。

- 給湯管と本体の接続部。
- 給水管と本体の接続部。
- 本体とプラグ栓の接続部。

※通水後漏水のない事を必ず確認してください。

図11

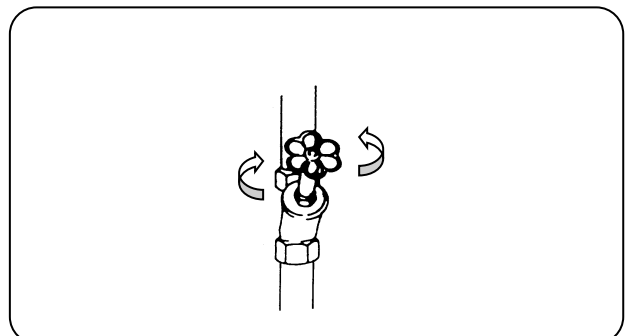


### 2. 水量・湯温の調節 (図12 参照)

お使いいただく現場で、適量・適温が得られるよう、止水栓で調節します。

※湯水の流量を同程度にすると温度調節がしやすくなります。

図12

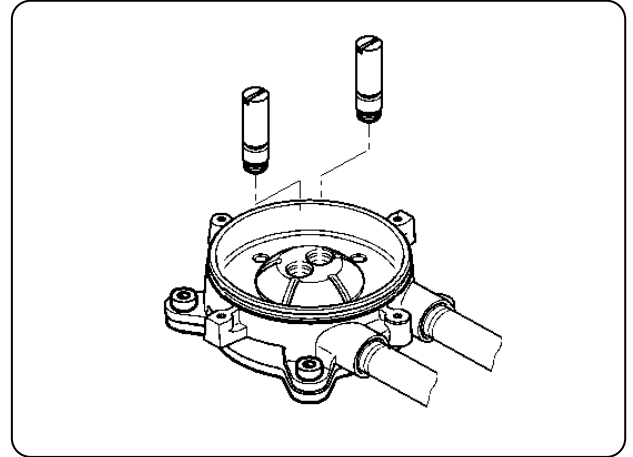


## 取り付け後の確認

### 3. フラッシュプラグの確認 (図 13 参照)

- ①フラッシュプラグをマイナスドライバー等で左回しに取り外します。
  - ②湯水を給水し、配管中の異物（ゴミ、砂等）を完全に洗い流してください。
  - ③作業が終了しましたら、フラッシュプラグを取り付けて下さい。
- ※必ずフラッシュプラグが閉じていることを確認してください。漏水で、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

図 13

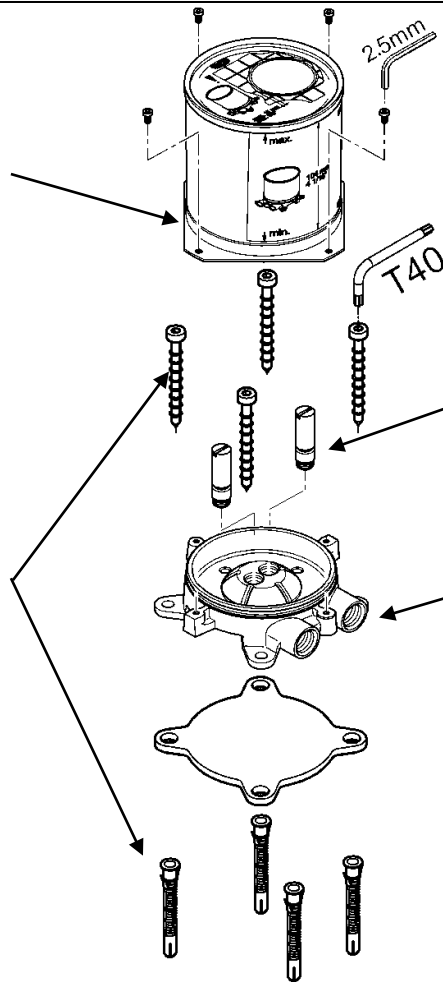


## 故障と点検

※取り付け後、万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行ってください。

養生カバー  
5. コーキング等の防水がしているか？

取付ビス  
3. きちんと取り付けられているか？  
床の補強は十分か？



フラッシングプラグ  
2. 配管を洗い流しているか？

配管の接続  
4. きちんと施工されているか？

止水栓  
1. 全開されているか？  
圧力は十分か？

現象	点検箇所
吐水量が少ない	1. 2
温度不良	1. 2
湯が出ない	1. 4
本体がガタつく	3
床面より漏水する	5
シャワーに切り替わらない	1

グローエジャパン株式会社

ホームページアドレス <https://www.grohe.co.jp/>